



「臥竜鳳雛」



*タイトルの意味は？調べてみよう

2019・10・11 第10号

学年主任 森本 聡一郎

1. 「中間考査日程発表」

中間考査に全力投球

年間5回の定期考査の真ん中。努力する人と怠ける人との格差が一番出る考査です。借金が増え上がると後が苦しくなりますから、ここは踏ん張りどころです。この3連休をうまく利用することです。

| | 10月15日(火) | 10月16日(水) | 10月17日(木) | 10月18日(金) |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1限 (9:00~50) | コミュ英語 I | 英語表現 | 現代社会 | 物理基礎 |
| 2限 (10:05~55) | 数学 I | 国語 B | 化学基礎 | 国語 A |
| 3限 (11:10~12:00) | | | 数学 A | |

※SHRは通常通り 8 : 35 ~ 考査中の休憩時間は15分です。

検査受検時の注意

何があっても弱い人間になってはダメ。テストでしくじってもダメ人間にはなりません、不正行為や迷惑行為をする人間は完全に失格です。

- 不正行為はもとより、私語・わき見など疑わしい行為の一切を禁じます。不正行為と判断されたり、試験監督の指示に従わない場合は、厳しい指導を行います。
 - 考査中は机の中が空になっていること。天板への落書きは何であれ不正行為とみなす。
 - 筆箱も鞆の中に入れて、机上は鉛筆(シャープペンシル)や消しゴムのみであること。その他、特別に許可されているものはこの限りでない。ただし、機能付きの腕時計などは試験中は使用できない。
 - 鞆類等はすべて自分の椅子の下に置いて、通路を空けておくこと。
 - 質問がある場合や、筆記具を落とした場合などは、黙ってその場で挙手をして、監督の先生を呼ぶこと。
 - 終了のチャイムと同時に鉛筆(シャープペンシル)を置くこと。終了チャイムが鳴り始めれば答案用紙に記入してはいけない。記名を忘れたことに気づいた場合でも、終了チャイム後に自分の席で記入しないこと。挨拶が終わった後に、試験監督の先生に申し出ること。
 - 試験中の途中退室は、よほどの事情がない限り認められないので、用足しなどは休憩時間中に済ませておくこと。
 - 携帯電話は絶対に電源を切って、鞆の中に入れておくこと。机の中に入れていたり、身につけていることが判明すれば、即座に不正行為とみなす。
- 考査1週間前から職員室や準備室への入室は一切禁止。しかし、質問などは自由かつタダですから、積極的にお願いすること。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」というとおり。
- 万一、欠席するような場合は、必ず学校に連絡を入れて指示を聞くこと。考査の未受験は著しく不利になるので、絶対に欠席しないようにする。

2. 「HAPPY HALLOWEEN！」 10月31日

“Trick or treat” — “Yipe! I’ m scared.”

「ごちそうしてくれなきゃ、いたずらするぞ」 — 「きゃー、こわい！」

日本の旧暦では十月は「神無月（かみなづき・かんなづき）」と呼ばれます。全国の八百万（やおよろず）の神が出雲大社に集合するため、出雲地方を除く全国で神様不在という事態になるからです。因みに出雲大社では反対に、神様がゴロゴロいますから「神在月（かみありづき）」と言うそうです。

キリスト教世界では、11月1日は*All Saitants’ Day*というおめでたい日で、この日に聖なるものが全て集まってくるとされています。そうすると、この世の中のよろしくない連中、つまり悪霊、妖怪、幽霊などは恐ろしくて出ていきません。従って、こういう連中は前の晩に目一杯悪さをするのです。そんな夜ですから、一般の人間は外へ出るとひどい目に遭います。みんな戸口をしっかりと閉めて家の中でおとなしくしているのです。

現代では、そんなことが迷信であることをみんな知っていますので、子どもたちはヘンテコな格好に扮して家々を回り、*Trick or treat!*と言いながらお菓子をせしめていくのです。大人たちまでが扮装してパーティーを開くのは、子どもたちから身を守る自己防衛かも知れません。これは極めてアメリカ的な行事であって、イギリスでは11月5日の*Guy Fawkes Day*（ガイ・フォークス祭り）が子どもたちにとっては楽しみに待ちわびる日です。子どもたちは世の中のためにフォークスの人形を作ってこれを焼いてくれます。この人形を作るために家々を回って、*A penny for the Guy.*と言いながら募金を集めて回るのだそうです。



3. 「お薦めの一冊」 読書の秋。考査が終われば、是非1冊！

●森本聡一郎先生

『孤高のランナー 円谷幸吉物語』 ベースボールマガジン社 青山一郎著 1760円

私が中学1年の冬、部活に身は入らず、サボって早く帰宅していた頃に読んだ一冊です。彗星の如く現れ、1964年東京オリンピックで日本陸上界唯一のメダルを獲得したマラソンランナー円谷幸吉。自衛隊員として職務を遂行しつつ、一切の妥協を許さず、振り向くことなく走り続けた男の生きざまが現代に甦る一冊です。

●西本智子先生

『茗荷谷の猫』 文春文庫 木内 昇著 737円

日常何の疑問も抱かずに受け入れている物事の背後にふと豊かな物語が存在することを知ったり、それと知らなければ見落としてしまう先人のわずかな痕跡に意識して目を凝らすことで気づくことができたりする、そういう瞬間が私は好きだ。

本作は、幕末から昭和にかけ、東京を舞台に、異なる登場人物が微妙に交差しながら（しかし当の人々はそれに気づくことはない）それぞれの生を生きる姿を描く9つの短編により構成されている。

ほとんどすべてのものは時間の経過とともに忘れ去られていくが、私たちが今生きている世界は先人たちの生きた名残であるということもまた事実なのだ。



●沖守春樹先生

『99・9%は仮説 思いこみで判断しないための考え方』光文社新書 竹内 薫著 756 円

以下、個人的に勉強になった部分を引用します

世界は仮説でできている

「その時代を支配する常識の力が強かった、(その常識も仮説であり、後にひっくり返る可能性あり)」(参考) コペルニクスの転回

「常識はただの思いこみ。その時代、その地域に生きている殆どの人の頭にこびりついている考え。常識は仮説にすぎない。』『頭が固ければ、ただ社会の荒波に翻弄され、ただ流されていくだけです。逆に、常に常識を疑う癖をつけて、頭のなかにある仮説の群れを意識するようになれば、それは「頭が柔らかい」ということなのです。』(p55)

相対的にものごとをみる

『話が通じないのは、自分の仮説が相手に通じていないということです。また、相手の仮説を自分が理解していないということでもあるのです。だとしたら、喧嘩になる前に、今一度、「この人は、どんな仮説の世界に生きているんだろう？」という具合に相手の心をよんでみればいいのです。』(p227)

●石元真理先生

『空中ブランコ』 文春文庫 奥田 英朗著 682 円

この本の主人公は精神科医の伊良部先生。まるで子供のような自由すぎる言動で、患者たちを大いに戸惑わせるが、最後にはなんだかんだで問題が解決してしまっている。『インザプール』『町長選挙』と共にシリーズ化されており、この本は直木賞も受賞している。伊良部のキャラクターに若干イラッとする読者もいると思うが、かなりぶっ飛んでいて、私は素直に面白かった。

またこの本は、昔担任していた女子生徒が、早々に芸大(舞台芸術)への進学が決まり、卒業までの期間読書をしたいので本を貸してほしい、と言われ、貸した本の一冊である。ちなみに、まだその本は返ってきていないので、同窓会で詳しい感想を訊ねてみたい。

●稲谷英俊先生

『モノグラフ 公式集 5訂版』 科学新興新社 1238 円+税

この本は高校生のための数学本です。数々の公式や定理が約 400 ページにわたって書かれています。高校数学は非常に多くの内容を含んでいます。教科書やふつうの参考書はページ数が限られていて、十分な内容や説明が書かれていないこともあります。そこでもし高校生のみなさんが、「もっと詳しい説明がほしい!」「もっと深く学びたい!」「さらに多くのことを知りたい!」と思ったとき、この参考書はその要望にこたえてくれます。もちろん、公式を忘れたときの復習にも使えます。

高校生のための本と言いながら、実は大人になっても使えます。愛読している数学の先生も多いとか。この本を読み物として、休み時間によし、寝る前によし、一生数学を勉強するという人のおともにどうぞ。

4. 「最大の名誉は倒れないことではない。倒れるたびに起き上がることである」

孔子（古代中国の思想家）

世界が生んだ史上最も偉大な哲学者・思想家を挙げていくと、かなり早い順に出てくる人物に孔子がいます。「子（し）日（いわ）く…（孔子様は次のようにおっしゃっていました）」で始まる教えの数々は、2500年の時代を超えて今なお語り継がれています。この古代中国の大思想家は、「仁」を最大の理想とする政治を行おうと国にも用いられず、決して恵まれた人生ではなかったようです。しかし、儒教の開祖として彼が与えた影響は相当なものであり、日本でも彼の言行をまとめた書物『論語』は相変わらず読まれています。

「倒れても起き上がる勇氣」「またやり直そうとする意気込み」が大切なのであり、「七転八起（七転び八起き）」や、「不撓不屈」などは、是非身につけておきたい精神です。とことんやってみて、それで結果が出なくても、それにこだわることが大切ではないだろうか…と最近強く思うのは、とことんやっていないくせに諦めのよすぎる現代っ子を見ているせいかな、それとも私が単に歳をとって頑固になってきたからでしょうか…。



努力もしないで適当な妥協をするのではなく、目標に向かって努力していく自分を創っていき。不屈の精神を培っておくと後の人生に少しは役に立つでしょう。いや、必ず役に立つ！

5. 「掃除をしっかりとしよう！」

朝夕涼しくなり始め、どうしても室内を閉め切りがちになります。しかし、多くの生徒が生活する教室の空気はすぐに汚れます。それでなくてもゴミがでやすいのですから、しっかりと掃除をしないと簡単に風邪をひいてしまいます。段々と気合の入らぬ、形ばかりの掃除になってきてはいませんか。今一度掃除の取り組みを強化していきましょう。

その人が有能な人であるかはわかりませんが、少なくとも「挨拶と掃除のできる人」は「社会的に信用できる人」であると言えるでしょう。